



ご縁が紡ぐまちづくり

～秋田県 五城目町 の挑戦と未来～

2025年10月27日
全国市町村長サミット2025 in 秋田
第一分科会 二地域居住・関係人口



秋田県五城目町



荒川 滋(あらかわしげる) 58歳

経歴

- 1967年 五城目町で生まれる
- 1988年 仙台市で会社勤務
- 1991年 稼業の米屋を継ぐ
- 2016年 町議選 初当選
- 2025年 2月 町長就任

父、母、妻、長男夫婦、
長女と同居



荒川 滋(あらかわしげる) 58歳

経歴

1967年	五城目町で生まれる
1988年	仙台市で会社勤務
1991年	稼業の米屋を継ぐ
2016年	町議選 初当選
2025年	2月 町長就任

父、母、妻、長男夫婦、
長女と同居 今年1月初孫が誕生♪



五城目町 について



位 置

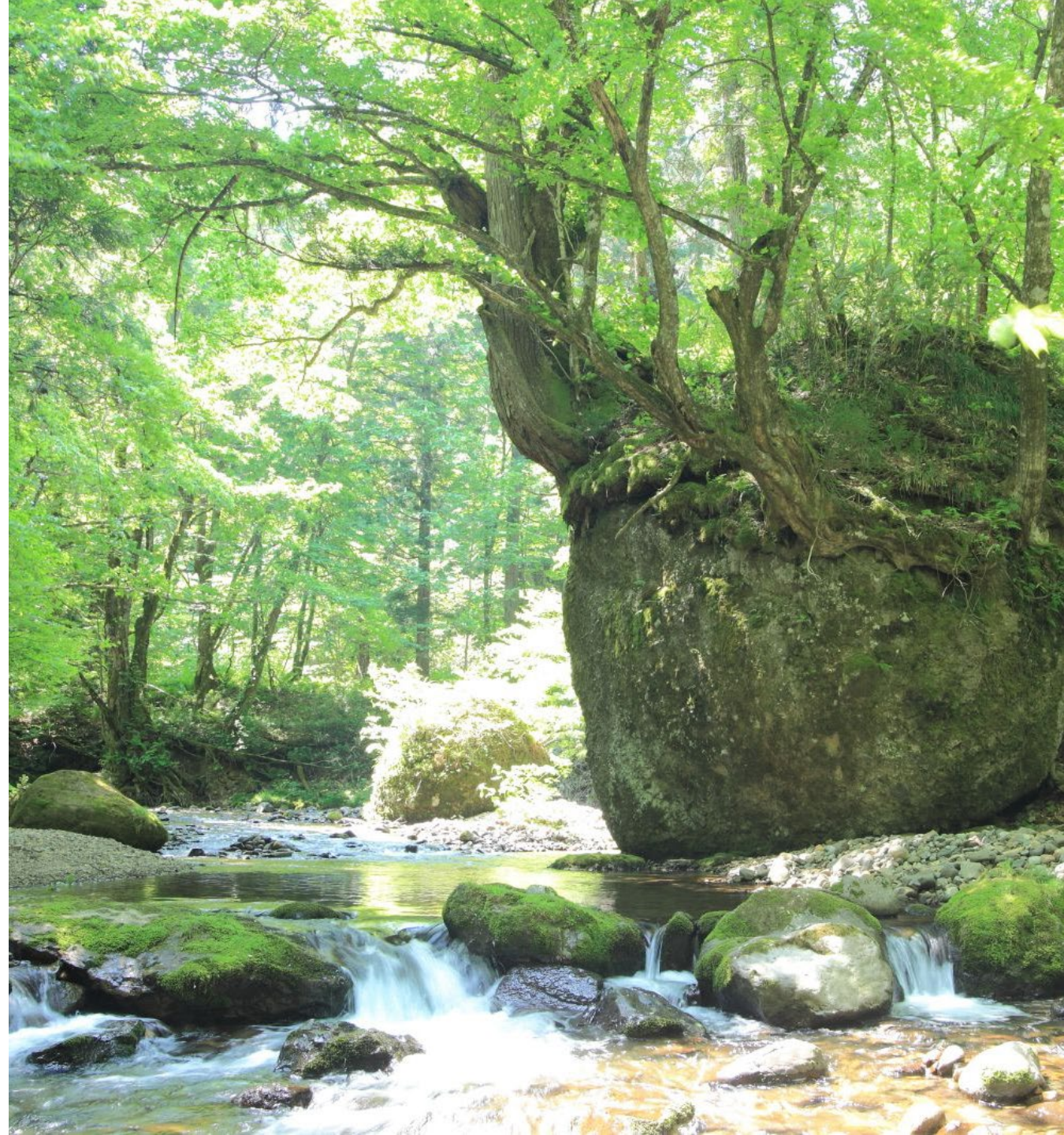
秋田市から北にクルマで50分
干拓で有名な八郎潟から東の町

自 然

面積214平方キロメートル
8割が森林に覆われている

歴 史

秋田県中央部の交通の要衝
商業と林業の町として栄える



森山（もりやま）

- 標高325メートル
- 町の中心にそびえる象徴的な山
- あらゆる世代に親しまれてきた母なる山
- 山頂からは八郎潟干拓地が一望できる





五城目朝市

- 戦国時代から530年続く
- 月12回開催（2、5、7、0のつく日）
- 春は山菜、秋はきのこなど、旬の食材を提供し多くの人でにぎわう

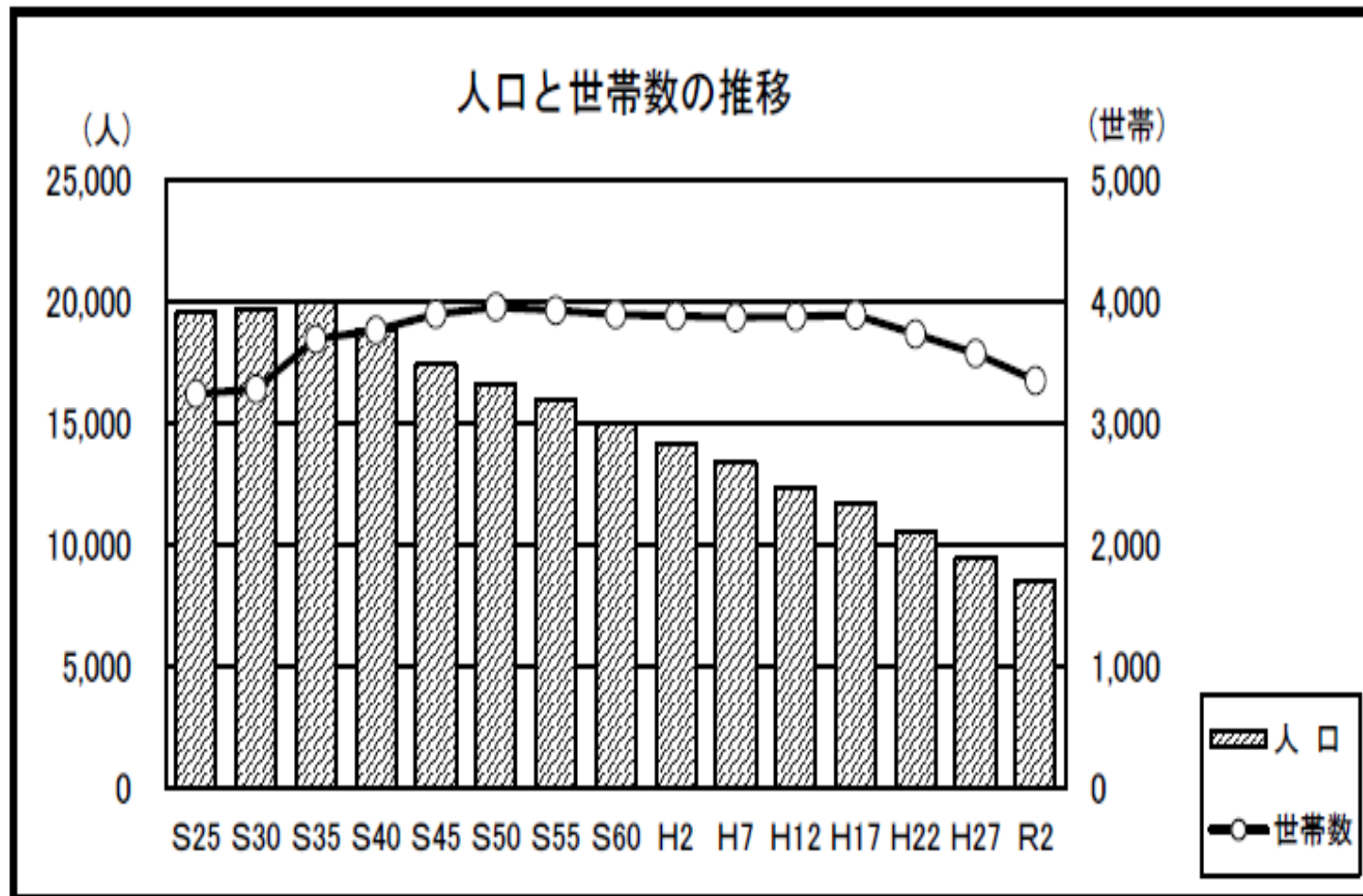




千代田区と 姉妹都市提携

- 1989年に提携
- まつり、運動会、防災訓練
など住民交流





現在の人口は7,600人

**人口は1960年の2万人を
ピークに減少**

**国有林野事業の衰退に伴い、
木材関連産業が減少**

高齢化率は52.5%（秋田県内ワースト4位）

2050年は3,571人（2023年社人研推計）



2005年 平成の大合併 合併できず単独立町

2006年 人員削減や公共施設の統廃合などを盛り込んだ五城目町自立計画策定

2011年 町で初めて企業誘致係を設置

2012年 企業誘致可能性調査

土地がない 労働力が確保できない

東京から遠くて不便



2013年3月 馬場目小学校 閉校

築13年の真新しい廃校が生まれる

2013年10月

レンタルオフィス

BABAME BASE 開設





入居者を増やすため

町職員による

「ご縁さがし」

「ご縁づくり」

うまれたご縁を町民につなぐ





具体的な取り組み

- ・ 姉妹都市「千代田区」で営業活動
(東京の若手起業家との縁づくり)
- ・ 町の課題を解決するハッカソンを開催
(全国のIT技術者との縁づくり)
- ・ 秋田市の企業を対象とした**運動会**を開催
(県内の若手経営者との縁づくり)
- ・ 町の若者が夢を語り合う発表会を開催
(地元若者との縁づくり)



結果

金型製造会社で勤務していた方が起業し入居

秋田市のIT関連企業が入居



秋田市のデザイナーが第2の拠点として入居



千代田区の若手起業家が 家族で移住し入居

一番最初につながった町
民が私

町職員からバトンを受け
た私も他の町民にご縁を
つなげていった

ハバタク株式会社 丑田俊輔氏

大学時代、東京都千代田区の公共施設をまちづくり拠点として再生する「ちよだプラットフォームスクウェア」の創業に参画。2021年より代表取締役。大学卒業後、日本IBMの戦略コンサルティングチームを経て、新しい学びのクリエイティブ集団「ハバタク」を創業、国内外を舞台に様々な教育事業を展開。



移住早々町のまつりに参加する 丑田くん



2014年

地域おこし協力隊3名採用

町民との関係づくりをしながら来町者を町民につなげる仕事

- ・ 石岡香澄（東京）
- ・ 柳澤龍（東京）
- ・ 石田万梨奈（東京）

BABAMEを活動拠点に



2015年

古民家改修プロジェクト シェアビレッジ町村



2016年

五城目朝市若者参加プロジェクト ごじょうめ朝市PLUS+(朝ぷら♪)





町にいなかった属性、価値観、年齢、ライフスタイルなど多様な人々を受け入れることで町民がポジティブな刺激や影響を受けて

自ら「起業、朝市出店、自主イベント開催」などに挑戦し始めた



行政側では挑戦を支援 する制度を構築

ものづくり支援事業 新商品開発
経費の10/10 最大20万円補助
(過疎ソフト事業)

起業支援事業 起業費用の1/2
最大50万円補助(過疎ソフト事業)

事業所改修等支援事業 改修費用
の1/2 最大50万円補助
(過疎ソフト事業)



全国から注目を浴びる 教育事業

住民参加型小学校建築プロジェクト 「越える学校プロジェクト」

世代を越えた学びの教室 住民を先生に
迎える社会教育講座「みんなの学校」

町外の小学生、中学生を
短期間受け入れる「教育留学事業」



**五城目町の
サステナビリティ** **10/2 [木]**

講師 国際教養大学准教授 工藤尚悟さん

五城目小学校 階段教室 **13:45・14:45**

対象：誰でもOK、最大100名



毎年恒例のこの授業！学生になった気分で、平日日中に学校の教室で大学の先生の講義を受けてみませんか。とはいえ、まったく堅苦しくはありません。テーマは「五城目町」。町が続いていくって、どういこと？持続可能なまちづくりって？など、今年五城目に関する新刊が出版された工藤先生と、楽しく考えてみる1時間です。

雀館散策 **10/2 [木]** 学校連動

講師 森の案内人 三浦豊さん

五城目小学校 周辺 **11:15・12:15**

対象：誰でもOK、最大50名



今年も開催！雀館運動公園の中を子どもたちと一緒に散策しましょう。森の案内人・三浦豊さんといっしょに、自然の木々や草花を学びながら、公園について考えてみましょう。見たことあるけど、この木何？この花何？といった素朴な疑問にも応える1時間。もっと公園を楽しめるように、みんなで勉強してみませんか。

森山と薬草 **10/10 [金]**

講師 TABEL(株) 新田理恵さん

地域図書館 わーくる **18:30・19:30**

対象：誰でもOK、最大50名



森山は、食べ物である山菜も、生活に必要な道具も、病を治してくれる薬草も、私たちに必要なものをなんでも作ってくれました。今回は、民間療法として地域に根づいてきた薬草をテーマに、薬草研究家の新田さんをお迎えし、薬草と秋田のつながりについてお話を伺います。自然とともに生きてきた知恵に、耳をすませてみませんか？

**夜の学校見学会
-徹底解剖！五小-** **10/17 [金]**

講師 五城目小学校 建築事業担当者
設計事務所担当者

五城目小学校 **18:00・19:30**

コーヒー入門 **10/21 [火]**

講師 Huddle up Coffee Roasters 宇野弘規さん

五城目小学校 家庭科室 **13:45・14:45**



BABAMEBASEは視察受け入れで さらにご縁の拠点に





【移住】

橋本尚志さん（IT企業勤務 総務
省地方公共団体DXアドバイ
ザー）

高橋今日子さん（東京大学研究
員）

漆畑宗介 さん（医師）

【オフィス入居】

工藤尚悟さん（国際教養大学准教
授）





2024年10月

JICA国際協力機構と協定を締結



**青年海外協力隊国内研修プログラム
(グローバルプログラム)**

**【全国初】 地域おこし協力隊
インターンとして研修生を受け入れ**



施策の成果

- 町がサポートした移住者数 89人（2014年から）
- 町がサポートした起業家数 46人（2013年から）
- BABAMEBASE入居数 44者（2013年から）
- BABAMEBASE来館者数 約5,000人（年間）
- 教育留学生数 54人（2023年から）
- みんなの学校講座開催数 90回（2023年から）
- みんなの学校参加者数 4,500人（2023年から）



まとめ



行政

- ・ 単独立町、企業誘致、千代田区との姉妹都市提携がきっかけとなった。
- ・ 廃校を有効に活用できた。
- ・ 地域おこし協力隊制度を活用できた。
- ・ 町民の「挑戦してみたい」が見えやすくなった。
- ・ 挑戦する気持ちを後押しできた。

町職員

- ・ 外に飛び出す力が結果につながった。
- ・ ご縁ができた方を支え続け、人柄や実績、魅力や思いを町民につなげた。



地域・町民

- ・ 多様性を尊重する文化が古くから根付いていることが再確認できた。

（５３０年の五城目朝市が関係しているかも...）

- ・ 挑戦したい気持ちを自然に受け入れる空気が生まれた。
- ・ 町の出来事がメディアに取り上げられ、目にする機会が増えた。
- ・ 町とのご縁から2拠点での生活で

町の賑わいづくりに貢献してくださる方が現れている。



【これから私が取り組むこと】

- これから「ご縁さがし」の仕事を担当する若手町職員を育てる。
(町職員が地域住民がつながる機会を業務をとおして増やしていきたい)
- 若手職員の出張機会を増やしたい。
(分野を越えた人材とつながる機会を増やしていきたい。)
- 挑戦してみたいを応援する支援制度や支援態勢をさらに整えていきたい。

★五城目町に住む方々が主役のまちづくりを進める
★ご縁をつなげて人と企業に選んでいただける町へ
★人口は減っても幸福度が高く住みやすい町へ



ご清聴ありがとうございました